



11月18日、歴史民俗資料館リニューアルオープン！

なかがわの暮らしを感じる資料館
「見て、触れて、発見する」



リニューアルに伴い入館料などが変更になります。

開館日 火、木、土（年末年始休館）
開館時間 午前9時～午後4時30分（最終入館 午後4時）
入館料 大人200円 学生100円 ＊上伊那郡内の学生（小・中・高）は無料
年間パスポート1,000円

特別展のご案内

「ここがすごい！ 苅谷原遺跡
～弥生時代の始まりを告げる土器～」
会期：11月22日（土）～令和8年1月31日（土）

片桐地区にある苅谷原遺跡は昭和20年代から注目されてきた遺跡です。耕作時に発見された遺物や確認調査結果などの再整理をおこなったところ、近隣に類例がない弥生時代前期の一大墓域であることがわかりました。苅谷原の人々の主食が何であったとか、三河地方の文化の影響を受けた土器が誕生したなど、苅谷原遺跡のすごさを紹介します。

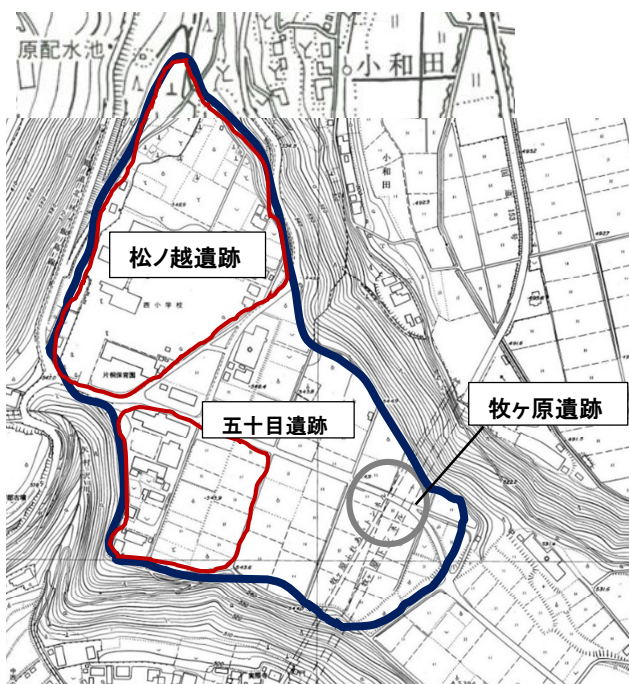
ぜひ、苅谷原遺跡の面白さとすごさに触れてください。



歴民館公認
キャラクター
「かりやん」



お知らせ 遺跡範囲の変更と新しい遺跡の登録について



青線で囲まれた範囲全体が松ノ越遺跡となりました。

遺跡範囲の見直し

遺跡範囲見直し以前の松ノ越遺跡の範囲は西小学校を中心とした一帯です。遺跡からは縄文から平安時代にかけての遺物が多数出土しています。

松ノ越遺跡の西側には大和政権と深いつながりがあったと考える六万部古墳があります。また遺跡がある牧ヶ原は古代の「牧」が存在する可能性が指摘されており、一帯は中川村の古代史を解明するうえで重要な場所です。

今回、遺跡範囲の見直しで松ノ越遺跡の範囲が限定的で、地形的な立地を考慮していないこと、また以前の遺跡地図には弥生時代から平安時代にかけての遺物が出土した牧ヶ原遺跡(上図が記載されていたことなどから、松ノ越遺跡が所在する台地に縄文から平安時代までの遺構が存在すると考えられ、一帯を一つの遺跡とすることになりました。

大切な文化財の保存にご協力をお願いいたします。

新しく遺跡に登録されました

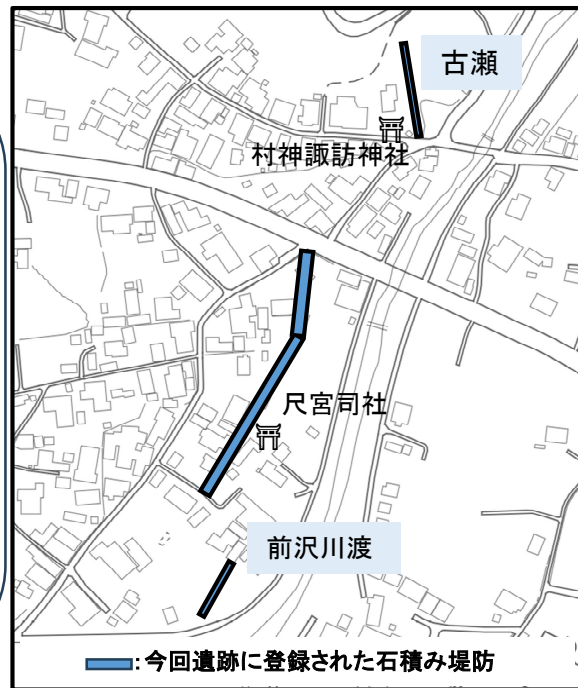
遺跡名：古瀬・新井の川除

古来から暴れ川だった前沢川はたびたび氾濫し、大きな被害を出してきました。この水害から地域を守るために造られた石積みの堤防が片桐地区の古瀬・新井に残っています。本堤防は氾濫による流失などで姿を消しましたが、新井の集落内にある控(ひかえ)の堤防は、国道153号線を越えて古瀬まで残っています。

特に尺宮司社から国道153号線までと村神諏訪神社から古瀬の山へ突き当たる場所の石積みは良好な状態で残っています。

一帯に残る石積み堤防は、江戸時代から明治時代にかけての水害の歴史を後世に伝えるものとして今回新たに遺跡に登録されました。

遺跡の登録にあたり、各地区の方々にご協力をいただきました。ありがとうございました。



◆お知らせ

歴史民俗資料館は増改築工事を終え、11月18日のリニューアルオープンに向けて準備をおこなっています。家の片づけなどで見つかった古文書や民俗資料、写真、軍事郵便などがありましたらお知らせください。特に戦争関係の資料や昭和58年の災害についての資料を探しています。大切な資料を次世代へ引き継ぐためにもよろしくお願いいたします。

詳しくは…

中川村教育委員会

TEL: 0265-88-1005

中川村歴史民俗資料館

TEL: 0265-88-3452 までご一報ください。

歴史館の様子をときどきUpしています→



NAKAGAWA_REKIMINKAN